

平成23年度認知症介護研究・研修仙台センター運営事業費研究事業

地域包括ケア体制構築に向けた地域住民連携と
ソーシャルキャピタル評価に関する研究

研究事業報告書

平成24年3月

社会福祉法人 東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター

地域包括ケア体制構築に向けた地域住民連携と ソーシャルキャピタル評価に関する研究

加藤伸司¹⁾ 矢吹知之¹⁾ 阿部哲也¹⁾ 吉川悠貴¹⁾
高橋満²⁾ 槇石多希子³⁾ 春川美土里⁴⁾

1) 認知症介護研究・研修仙台センター

2) 東北大学大学院

3) 仙台白百合女子大学

4) 東北福祉大学大学院

目次

研究1 加齢と健康に関する縦断研究の分析と介入研究

はじめに	1
I 目的	2
II 方法	2
III 結果	2
1. 健康状態	
2. 生活習慣	
3. 地域活動	
4. 趣味活動	
5. 生活の質	
6. 対人交流	
7. 主観的幸福感	
IV 考察	31

研究2 都市部高齢化地域における震災時の住民連携に関する研究

はじめに	37
I 目的	38
II 方法	38
1. 対象地域	
2. 調査対象者	
3. 期間	
4. 実施手続き	
5. 質問項目	
6. 分析方法	
III 結果	41
1. 調査対象者の基本属性	
2. 世帯構成による主観的健康感と地域への一般的信頼	
3. 世帯構成と震災当日の支援と行動	
4. 世帯構成と震災後の変化	
5. 閉じこもり要因による主観的健康感と一般的信頼	
6. 閉じこもり要因と震災当日の支援と行動	
7. 閉じこもり要因と震災後の変化	
8. 震災後一週間の不安感の遷移	
9. 震災後一週間の助けになった支援内容の遷移	
10. 震災後嬉しかった言葉	
11. 災害対策の今後の不安	
12. 地域活動への参加意向	
13. 地域活動への参加促進の条件	
14. 地域活動に参加したくない住民の参加促進の要件	
IV 考察	79
1. 震災が地域の高齢者に与えたインパクト	
2. 孤立、閉じこもり高齢者への住民による認識と実態の差異	
3. 地域連携のために必要な行動変容アプローチ	
4. 参加を避けている住民に対してのアプローチ	
5. 身体的理由により参加できない状態にある住民へのアプローチ	
6. 介護家族が参加するための条件整備	
7. 参加しやすい地域活動の条件	
8. 地域の活動の条件と参加したくない人の特徴	

研究3 高齢者の震災への対応と支援のネットワーク ～高齢者の〈安心〉をどうつくるのか～

I	研究の課題と方法	85
	1. 研究の課題	
	2. 調査地の概況	
	3. 調査の方法と対象者の特徴	
II	震災時に高齢者はどう行動したのか	91
	1. 発災時の対応	
	2. だれが支援をしたのか	
III	避難所での暮らし	98
	1. 避難所生活での困難	
	2. 健康への不安と避難所生活	
IV	高齢者の〈安心〉を支えるネットワーク—自助・互助・共助・公助の力	102
	1. 「自助」の力	
	2. 「互助」の力—近所・友人間のインフォーマルなネットワーク	
	3. 「互助」の力—家族・親族のインフォーマルなネットワーク	
	4. 「共助」の力—自治会・民生委員等によるノンフォーマルなネットワーク	
V	高齢者の生活の変化と今後の課題	112
	1. 震災後の健康や生活の変化	
	2. 今後の課題—高齢者の安心をどう支えていくか	
VI	全体のまとめ	116